

## 二学期が スタートしました

8月25日(火)に2学期がスタートしました。前日の24日(月)には、全職員が出勤し、スムーズにスタート出来るよう、念入りの清掃や消毒などして迎え入れの準備をしました。

今年はコロナ禍のため、例年に比べると短い夏休みとなりました。その夏休み期間中も福岡市における新型コロナウイルス感染症の陽性患者が毎日のように報告されており、「子どもたちは元気に過ごしているのか…」と心配していました。

正門で登園してくる子どもたちを待っていると、多くの子どもたちが「おはようございます」とさわやかな挨拶と元気な顔を見せてくれ、ほっと一安心したところでした。今年の夏休みは外出や活動を控えられた事とも関係しているのかもしれませんが、全体的に日焼けした子どもが少なかったように見受けられました。

2学期の始園式は、これまでと同様に3密を避けるために放送による始園式を実施しました。

マイクを通して、「おはようございます」と呼びかけると「おはようございます」と元気のよい挨拶が職員室まで聞こえてきました。姿は見えませんが、とても良く聞いている様子が伝わってきました。

晩夏～秋～初冬と季節が変化していく2学期。子どもたちが季節の変化と関わりながら、どんな遊びをしていくのか今から楽しみにしているところです。

## 教育実習が始まりました



筑紫女学園大学幼児保育コース4年生、奥江真央先生の教育実習が始まりました。期間は、8月31日から3週間で、うさぎ組やりす組、ゆり組での教育実習になります。大学1年生の時の見学実習で本園を訪れ、時間のしぼりがなく子どもたちが伸び伸びと遊べる環境が良かったことが印象に残っており、そのことが実習先に選んだ理由とのことでした。将来は、子どもたちにとって幼稚園に行くのが楽しいと思えるような保育を行い、笑顔で元気いっぱいな先生を目指していきたいということでした。本園での教育実習を通して多くのことを学び、立派な先生を目指してください。

## あれっ！園児は、どこに…？



左の写真は8月31日の10時過ぎの園庭の様子です。園児の姿が一人も確認できません。

この日の園庭の気温は、37度を超えていました。給食後の気温を測定すると39度に達していました。太陽の直射熱と地面からの反射熱で体温以上の気温になってしまいます。

本園では、気温が36度を超えると熱中症予防のため、室外遊びから室内遊びに切り替えるようにしています。いつもは園庭で遊んでいるはずの園児の姿が一人も確認できなかったのは、そのためでした。

2学期がスタートして1週間が経ったばかりですが、連日の猛暑日続きで、室内遊びに切り替える日が3回ほどありました。(8月31日現在)

## 卒園児へのアルバム渡し



8月19日(水)、卒園児にアルバムを渡す会を催しました。コロナ禍の中なので、消毒や換気を徹底し、3密にならないような座席配置で、クラス毎に入れ替えて実施したところです。

ランドセル姿も板につき、座り方や話の聞き方、手の挙げ方など、すっかり小学生になっており、頼もしく感じました。

相変わらず元気な八谷前園長(毎日、2時間の歩さをされているとのこと)の挨拶に始まり、これまでの受持ちの先生からクイズが出題されました。クイズの内容は、先生たちの小学校時代に関するもので、学習や給食、遊びや飼育栽培、ランドセル等に関するもので、クイズを通して卒園児に頑張っしてほしいことやエールを送っていました。

短時間でしたが、久しぶりに友達や先生と会えて楽しい時間を共有していたようです。

